

公民館だより

地区館号
公民館 3号
53318

社会環境を美しく

館長 藤本 秀雄

石浦の国道沿いの田畑へ仕事に行くと、空きかんや、ビニール袋などのごみが捨てられていて耕作にも困ることが随分あります。もちろん自動車から捨てたものです。由良までの歩道を通っても同様にたくさん散らばっています。又、由良川の堤防や奈良海岸にも、更に由良の海岸にも空きかんのごみの山です。なお、上流からの下水も美しい由良川を汚くしつつあります。

この現状を見て、何とかならないものかと考えるのは、私一人ではないと思います。

自分たちで作っている社会です。もっと美しく住みよくなる責任は、みんなが持つべきです。人のことなど考えていたら、この世の中は生きていけないと言う人がありますが、果してそうでしょうか。人間は一人で生きていくわけではありませんし、自分だけのことを考えていくて痛ましい。泣く声がかかるさいと幼子を殺す実母、制服警官の暴行殺人事件、滋賀県の中学生の同級生殺傷事件等々、「一体、だれを信じたらよいのか」と私たちに大きいショックを与えました。更に、不況倒産の社会的不安は犯罪をエスカレートし末期状態となって行く恐ろしさを感じました。

ある評論家は、「中学生の同級生殺傷事件は、先生も親も友だちも信用できない」と簡単に判断し、暴に暴をもつてすると考えたのではなからうか。この事件はコミュニケーション不足から起った事件である」と言っています。

公民館活動は新しい時代に即応した社会づくりをすることにあり、そのことは、生活文化の振興と社会福祉に寄与する使命を持っている。

今こそ公民館活動の重要な時機ではないでしょうか。これからの事件を未然に防ぐコミュニケーション、それ皆が気楽に集まれる殿堂から連帯を高める心に発展し、誕生するのではないのでしょうか。

しかも、この中央公民館の機能は、講習会、講演会、

では、この世の中がうまくいくはずはありません。

私たちは、常に公共物を大切にすること、人に迷惑をかけないよう他人のことも考えること、相手の立場を考えるという心を持つべきです。この心持ちで、ふる里を美しく社会環境をよくすべきです。

美しい住みよい由良にするために、まず区民の一人一人が、

公共物を大切に

他人のことを考える

ということに心掛けましょう。

なお、更に由良を訪れる観光客にも、又、上流に住む方方にも協力を呼びかけて、美しい由良にしようではありませんか。

お願い

主事 平間 克巳

「冬来りなば春遠からじ」このことわざは、私たちに明るい春を夢みせてくれます。

それなのに最近の新聞テレビに報道される事件は、暗

定期講座、討論会、各種実習（料理、編み物教室）更に結婚式場など、社会教育活動の生涯教育機能を多角的に高め、現実的には、市役所の由良出張所として併設されるなら、地域の皆様のご便宜をはかることになり、喜ばれることは火を見るより明らかで、又、そのことにより中央公民館の日中管理も可能で、両両相まってプラスとなります。

かねてより由良の公民館活動は、モデルケースとして府下の公民館大会を始め、その他の大会毎に発表されるまでに着々と実績をあげている。この事は元より由良の皆様の深いご理解によること、公民館委員として黙々と熱心に活動して頂く方方のお陰であります。大会の中で等しく驚かれることは、中央公民館が間借り公民館である事です。由良は観光地として各地から浴客が訪れます。従って色々な影響を受ける土地柄であります。

そのために、中央公民館の建設により、教養を高め情操を豊かにし、生活文化振興を深める施設が急務ではないでしょうか。

子子孫孫に至るまで、熱意をもって公民館活動をする

中央公民館建設こそ由良百年の幸せをもたらすことと深く信じ、「百天筆頭道一歩」百天のかん頭一歩を進めて頂きたいと切にお願ひ致します。

成人の日式に出席された 方方のご紹介 (敬称略)

- | | | |
|------|--------|--------|
| (脇) | 坂井 てる子 | 磯田 春美 |
| | 竹内 義行 | 足立 輝美 |
| | 秋田 美弥子 | 小室 恵子 |
| | 岩本 礼子 | 中西 厚子 |
| | 石田 登紀子 | (上石浦) |
| (宮本) | | 山下 篤 |
| | 浜崎 美智子 | 岸田 宏一 |
| | 小西 富美子 | (下石浦) |
| (港) | | 山下 明美 |
| | 大畑 志津代 | 山下 波留美 |

防犯
由良
由良駐在所
TEL 6-0014
昭53.3号外

苦情 要望等は 気軽に駐在所へ

皆様のもととも身近で仕事をしている警察官。それは、交番や駐在所に勤務している警察官です。「明るく住みよい町づくり」のため、日夜活動しておりますが、地域住民の皆様方の協力なくしては、目的も達成できません。どうぞ、皆様方から「住民の声」をお寄せください。また、すまじい協力をお願い致します。

自転車盗難にご注意!!

- 最近、自転車の盗難が増えています。特に、国鉄丹後由良駅前、に集中しています。それほとんどが無施錠です。自転車の錠かけを励行しましょう。
- 自転車の入っが無断借用です。早く手元にもどるためにも、自転車の記号と防犯登録番号を……

少年の非行 覚せい剤の恐怖!!

由良の歴史 第一号発刊

わたしたちのふるさと、この由良には、古くから千軒長者の語とか、さんしう大夫の語などが伝わり、また北前船の活躍や由良川の舟運にちなんだ歴史や言い伝え等々、古人たちが日々の生活のなかで育み築き、あるいは語り伝えてきた生活の歴史や伝承、やぐつていけばきりがないうらやう。

これら過去に生活の歴史をさぐることで、わたしたちの生活を考ふる糧となるなら——ということから出来たのが「由良の歴史をさぐる会」であります。この会も今年で七年目を迎えます。また、皆さんの善意とご協力によって出来ました郷土資料館も二月十一日で五周年を迎えました。このことを機に、これまでの模索をまとめましたのが第一号の「由良の歴史」であります。

発刊第一号も皆さんのご理解によって、またたくうちに品切れとなりました。近く増刷も出来てくることになっております。ご一読!! 感想、教示賜りますようお願い致します。(内容は昨年十二月回覧済みです)

最近、青少年の非行化、特に「中学生、高校生」の覚せい剤汚染」が広まっております。又、薬代を手に入れるため、ショッキンギな犯罪をひきおこして社会問題にもなっております。

- 少年非行の共通点については
- 交友関係の広域化
 - 中流家庭での放任
 - 空室化した勉強部屋
 - 勉強、クラブ活動に無関心
- 等等……です。

学校ではもちろんですが、家庭におきましても「病める子ども」を早期発見し、非行の芽を摘みとりましょう。

春休み中の子どもに關心を!!

正しく明るいキレイな選挙を

京都府知事選挙

三月十五日 告示
四月九日 投票

「選挙を通して政治に参加する」ことの意義を考え、選挙違反の絶無を!!

今とついでの間 藤井 涼庭

福祉教育の貧弱さ、特に教育について憤慨を感じずにはいられない。いわゆるこれは一つの例にすぎないが、いなかの開業匠の子弟は必ずといって言いほど、将来自分の後継ぎにと中学、高校を都会の学校に通わせて、別居生活をしている先生方が多いことに驚く。これは、私たちサラリーマンにとっては至難の技である。が、これにつけて言えることは、都会の教育ふりは、いなかの教育でついていけない不十分だとみる先生方が多いせいだと私なりに考えている。何も大学ばかりが教育の目標・目的ではないが、バロメーターなくして教育は語れないと考える一視野から、あるいは特殊をもって一般を語るなどの勸書が偏見に終るといすらけもあるが、まあ考え方、地区事情として受けとつてほしい。

これからの時代はそれ程までしなくては最も、大学らしき大学々には入学できなくなった。
特に由良地区の場合、加佐郡の時代、由良川中学の由良分校があったことは三十三歳以上の方なら、わが身を

私は教育論を云々する気はも頭ないが、教育の方針は根本的には前進があつて後退はありえぬとする所により新しい文明・文化をつくりだすのではないが、テレビの子よ、立派に育てくとはめたたえる親がさびしくもある。要するに由良に中学校があればいいなあという希望である。

公民館図書室
利用のご案内

公民館の図書室は、いま、市役所出張所のなかにあつて、約八百冊の本を備え、皆さんにどのしどし利用して頂くことをお待ちしております。

- 本の貸し出しは
- 出張所の開いている時なら、いつでも。
- 読みたい本があつたときは
- 備え付けの貸し出し簿に記入してください。
- 本を返すとき
- 貸し出しのときに書いた欄の横に「返」の印を

もつて経験しているにちがいない。合併問題に端を發して、由良の中学校が廃止になり、わずかに十三、十五、平均の若者が、わざわざとりの栗田中学校まで朝夕の通学を強いられ、学力低下に一段買ひ、同時に良い事も悪い事も覚えるようになったし、義務教育の場さえ、いわゆる金のいる時代を迎えている。

要するに、今とついでの間をふり返るとき、良い面が増え、悪い面が減ったなどと考える人は少なからうと思ふ。何も進学率ばかりが教育の良悪を判断する基準にはなりえないが、少なくともこの面にも指摘はあり得ると思ふ。例えば、京大への入学率を見た時、現在、昭和三十六年（由良の中学廃校時と思うので？）を基準にする時、昭和二十年—昭和三十六年と昭和三十七年—昭和五十二年とを比較したとき、三、四人（まだ多いかもしれません）が、二人の比ではなからうか。教育権の均等化は、都会ほど有利になったという時代に最も基礎をつけねばならぬ年代に、汽車通学の教育を受けながら、今の時代にむかうことは、マイナス要因になっているのではないかと疑いたくもなる。

必ず書き入れてください。
希望図書のリクエスト

備え付けの希望の本がありましたら、著者、書名、発行所とご希望の方の名前を明記しておしらせください。

◎ 最近、購入の本を お知らせします。

おぼあんの知恵袋(上下)	結婚礼法	藤田梅雄著
桑井 いね著	紅花	井上 晴著
丹後道(やさし調査報告書) (注 由良神楽踊りも登場)	海峡物語	五木寛之著
府教委 編	人間の証明	森村誠一著
八甲田山死の彷徨	ながい午後	立原正秋著
新田 次郎著	野性の証明	森村誠一著
ルーツ(上・下)	夜の出帆	渡辺淳一著
アビタス・イイリ著	黒の回廊	松本清張著
泥流地帯	希望	曾野綾子著
三浦綾子著		

寄贈図書
「小坂文夫」考 谷口 謙氏著 寄贈
谷口 謙詩集
日本史年表 若波書店編